

施策評価シート

施策等名称	こころの健康	体系番号	0101010505
		主管課	健康づくり推進課

1 施策基本情報

現状と課題	自殺は、その多くが追い込まれた末の死であり、その多くは防ぐことのできる社会的な問題です。平成28年に茅野市では12人の方が自殺で亡くなっています。平成18年に自殺対策基本法が制定され、国を挙げて総合的に自殺対策が推進されてきました。茅野市でも平成30年度、自殺対策計画を策定を行います。
めざす将来像 (あるべき姿、基本的な考え方)	お互いに支え合い、その人らしく暮らせるまちづくりをとおして、「誰も自殺に追い込まれることのない茅野市」の実現を目指します。全庁的に自殺対策に取り組むと同時に、関係機関との連携を図って活動をすすめます。 基本施策として、自殺対策の普及と啓発、自殺対策を支える人材の育成、生きることの促進要因への支援、地域ネットワークの強化、児童生徒のSOSの出し方に関する教育・支援を行います。また、重点施策として、高齢者対策、生活困窮者対策、無職者・失業者対策、子ども・若者対策、勤務問題対策に取り組みます。

施策指標	指標名称	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値
				2027年度目標値
①	自殺率	人口10万対自殺者数(率)	18.50	15.00
②				
③				

施策の柱 1	名称	こころの健康	主管課	健康づくり推進課				
	詳細	高齢者や男性の自殺の割合が高く、健康問題や生活困窮による自殺が多い状況です。自殺者を減らす取組を行います。						
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分		
	1	自殺率	人口10万対自殺者数(率)	18.50	15.00	1	こころの相談事業	実施
	2					2		
	3					3		
						4		

基本政策間連携

施策の体系	名称		主管課				
	詳細						
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分	
	1				1		
	2				2		
	3				3		
						4	

基本政策間連携

施策の柱 3	名称		主管課				
	詳細						
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分	
	1				1		
	2				2		
	3				3		
						4	

基本政策間連携

施策等名称	こころの健康	体系番号	0101010505
		主管課	健康づくり推進課

2 指標等の推移と変動要因

体系区分	成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
指標No.		中間目標値	実績値 / 達成率(実績値÷目標値)				
施策	自殺率	18.50	17.10	16.80	18.58	18.07	
		1	15.00	40.00	48.57	-2.29	12.29
変動要因等	2018年度	実績は、把握できる直近の数値とし、H26～30年の平均値を記載。H29年11人、H30年6人と減少している。					
	2019年度	実績は、把握できる直近の数値とし、H27～R元年の平均値を記載。R元年11人に増加。					
	2020年度	実績は、把握できる直近の数値とし、H28～R2年の平均値を記載。R2年12人。					
	2021年度	実績は、把握できる直近の数値とし、H29～R3年の平均値を記載。R3年10人。					
	2022年度						
柱1							
1							
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						

施策等名称	こころの健康	体系番号	0101010505	
		主管課	健康づくり推進課	

3 評価・改革改善

(単位:円)

項目		2018年 (前年度比)		2019年 (前年度比)		2020年 (前年度比)		2021年 (前年度比)		2022年 (前年度比)		
投資額	事業費(円)	2,146,421		2,307,782	1.08	2,468,000	1.07	1,894,932	0.77	2,318,000	1.22	
	うち一財(円)	1,203,421		1,160,782	0.96	1,227,000	1.06	937,932	0.76	1,147,000	1.22	
	増減理由 (一般財源 前年度比 ±10%以上 の場合に 記載)											
進捗評価		おおむね順調		おおむね順調		やや遅れている		やや遅れている				
総合評価	主な取組内容や成果	自殺対策計画を策定した。庁内連携会議、連絡協議会を開催し、来年度以降の行動計画を立てることができた。		自殺対策計画に基づき、心の相談、ゲートキーパー学習会、メンタルヘルス出張講座、SOSの出し方教育等を実施した。自殺対策連絡協議会では、精神科医から研修をいただき、事例検討を行った。庁内や関係機関についても取組をしていただいた。		コロナの影響で会議を開催することはできなかったが、進捗状況の進行管理はできた。ゲートキーパー学習会を7回、メンタルヘルス講座を7回開催した。成人式が中止となったため、大学生に啓発グッズを配布。市内の店舗にも自殺予防ポスターを掲示してもらった。		コロナ禍でも自殺対策連絡協議会を開催することができた。ゲートキーパー学習会を2回、メンタルヘルス講座を3回開催した。大学生に啓発グッズを配布。市内の店舗等にも自殺予防ポスターを掲示してもらった。				
	課題	計画が策定できたので、来年度以降、庁内や関係団体での取組をどうすすめていくか、会議の持ち方等の検討が必要。		庁内や関係団体と連携しながら推進していく事業なので、進め方や会議の持ち方を検討していく必要がある。		コロナの影響かどうかは不明だが、自殺者が増加している。		コロナの影響かどうかは不明だが、自殺者が増加している。				
改革・改善	改革・改善内容	担当者であらかじめ、会議や事業等をどう進めるのか話し合い、年次計画を立てて進める。		自殺対策の取組について、進捗管理をしていくことで、庁内や関連機関に取組をすすめてもらう。		コロナの影響があり、会議等の開催は難しいが、次年度も、ポスター掲示に協力いただけるところを増やすなどの取組をしていく。		自殺対策の取組について、進捗管理をしていくことで、庁内や関連機関に取組をすすめてもらう。				
	施策の柱等の重点化	重点化する施策の柱	1		1		1		1			
		重点業務	1		1		1		1			
理由	自殺予防の取組を行っていくことで、自殺者を減らしていく。		自殺予防の取組を行っていくことで、自殺者を減らしていく。		自殺予防の取組を行っていくことで、自殺者を減らしていく。		自殺予防の取組を行っていくことで、自殺者を減らしていく。					

作成担当者	小穴 範子	小穴 範子	小穴 範子	神澤 活枝
最終評価責任者	両角 直樹	両角 直樹	依田 利文	依田 利文
最終評価年月日	2019年5月31日	2020年7月10日	2021年5月31日	2022年5月30日